



## 租税教室

## 救急処置講習会

7月11日(火)、1年生を対象に租税教室が行われました。講師は税理士の三木由佳子先生と篠原朋範先生で、税の役割と公正な使い方について説明して頂きました。生徒の感想です。「日本では、たくさんのお金が我々の生活に使われていることが分かったので、税金に感謝しなければならぬし、私もしっかり税金を払いたいと思います。」(1組小林芹愛さん)「まだ高校生だけど、これまで多くの税金の恩恵を受けてきたので、勉強して、しっかり働いてこの恩を返していきたいです。」(2組山本祐己くん)税について考えるよい機会となりました。



7月3日(月)と、10日(月)にそれぞれ職員、運動部代表生徒と保健美化委員を対象とした救急法講習会を開催し、熱中症の予防、救急処置についての講話と、AEDを用いた一次救命処置の実技演習を行いました。

「頭痛は我慢してしまふ症状だけでも、熱中症の危険なサインかもしれないと思うと、無理をしないといけないと思いました。」「バドミントンは風があるとできないため体育館を締め切っています。こまめに水分補給をしていきたいです。」(倒

れている人を一人で助けるのは本当に難しいので、みんなで協力して助けたいです。「いざという時にはAED・担架・椅子を持って行きたいです。」(生徒の感想文)



## 避難誘導訓練



7月12日(水)に、地震とそれに伴う火災の発生を想定した避難誘導訓練を実施しました。

避難訓練終了後に、体育館において、自衛隊兵庫地方協力本部本部長の六車昌晃氏に「体験的防災論と自衛隊勤務から得られたもの」という演題で、講演をしていただきました。

阪神・淡路及び東日本大震災の災害派遣活動に従事された貴重な経験を通して学ばれた教訓、また自衛隊勤務から得られたチーム力、責任感、教育訓練の大切さについて、お話しいただきました。

生徒たちにとっては、不断の努力や自己実現の達成が求められる中で、高校生活を充実させるヒントが、この講演会から、得られたに違いありません。



### ちょっと一言

◇ 1学期末考査が既に終わり、生徒たちは特別時間割期間となって午後は部活動等に青春の汗を流しています。午前中の授業の中にも特別授業や講演等が組み込まれて、1年生の租税教室や避難訓練等では、社会の第一線で活躍されている専門家の方々にお越しいただいて貴重な話を聞かせていただきました。こうした機会ひとつひとつが生徒諸君の成長の糧となって積み重ねられていくことを願っています。(H. H.)